

図書館だより 9月号 令和8年度



夜には秋の涼しさを少し感じられるようになってきました。9月12日は「宇宙の日」です。毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトルで日本人として初めて宇宙飛行した日にちなんで制定されたそうです。今月は宇宙や天文にちなんだ本を紹介します。

参考：JAXA, ファン!ファン! JAXA!, FAQ, 「宇宙の日」とはどういう日ですか?
<https://fanfun.jaxa.jp/faq/detail/313.html>(参照日 2026.7.10)

『宇宙への秘密の鍵』 ルーシー・ホーキング、スティーヴン・ホーキング/作

さくまゆみこ/訳 佐藤勝彦 日本語版監修 岩崎書店 933ほ

ブラックホールの研究で世界的に知られるイギリスの理論物理学者であるホーキング博士が、自身の娘と書いたスペース・アドベンチャー。少年ジョージの冒険をとおりブラックホールや太陽系、宇宙の起源などを楽しく学ぶことができます。宇宙世界の神秘をこの本で体験してみては??

『宇宙においてよ!』

のぐちういち 野口聡一/著 講談社 538の

著者は、宇宙に3回滞在した宇宙飛行士の野口聡一さんです。宇宙飛行士になった経緯や宇宙での暮らしなどをわかりやすく伝えたノンフィクション作品です。写真やイラストもたくさん使われていて読みやすく、宇宙への興味を喚起する1冊です。

こちらもおすすめ

『天文現象のきほん』

塚田 健/著
誠文堂新光社

440つ

『さばの缶づめ、宇宙へいく』

鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち
小坂康之、林公代/著

植田知成/絵 イースト・プレス

667こ

『流れる星は生きている』

藤原てい/著
筑摩書房

916ふ

世田谷が舞台の小説

小説を読んでいる登場人物の姿を想像するとき、自然とその背景も同時に思い浮かべていることが多いと思います。皆さんが住む世田谷区が舞台になっている小説は数多くあります。読んでいる小説の登場人物が、自分がよく知る場所で動いている姿を想像するのも面白いですね。

二子玉川が舞台『カラフル』 森絵都/著 文藝春秋 913も

三軒茶屋が舞台『真夜中のパン屋さん』(全6巻)

大沼 紀子/著 ポプラ社 913お

自由が丘が舞台『窓ぎわのトットちゃん』 黒柳徹子/著 講談社

このほかにもたくさんあります。館内コーナーに展示中!



お知らせ

くわしい使い方は別途配布の「世田谷区電子書籍サービスのご案内」をご参照ください。

●世田谷区電子書籍サービス

学校のタブレットからも電子書籍が 読めるようになりました!

⇒学校図書館の所蔵図書に加えて、生徒がより広く図書を知り、読書の世界を広げることができます。

⇒文字拡大や色反転など、読書バリアフリーの機能を使い、通常の活字では読みづらさを感じる生徒に対応した読書環境を提供します。

※利用者IDとパスワードは個人情報の観点から大切に扱ってください。

本の表紙画像は出版社から許諾を得られたものや、出版社または「版元ドットコム」のWebサイトで掲載可能であることを確認できたものを掲載しています。また、イラスト画像は制作者の利用規約を確認して使用しています。2026.07Libnet

読書のとびら

9月号 世田谷区立奥沢中学校図書館

『ストロベリームーン』

芥川なお/著 すばる舎(913)

高校の入学式で出会ってすぐに付き合い始めた日向と萌。好きな人と一緒に見ると永遠に結ばれるというストロベリームーンを見た次の日から萌は入院してしまいます。

映画化された青春恋愛小説です。



中秋の名月



「中秋の名月」とは、太陰太陽暦8月15日の夜に見える月のことです。2026年の中秋の名月は、9月25日です。今年は満月が翌々日の27日となり、2日もずれるのは珍しいことなのだそうです。

ほしぞら情報 2026年9月 中秋の名月(2026年9月)

<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2026/09-topics03.html>

(参照日・2026・8・6)

『李陵・山月記』

中島敦/著 新潮社(913)

観察御史の袁慆は、旅の途中で人喰い虎と出会います。虎は襲いかけますが、相手が旧友の袁慆だと気づき、姿を隠します。

この「山月記」の他にも、中国の古典を題材にした短編が収められています。



『世界でいちばん素敵な 月の教室』

浦智史/監修 ミオブックス(446)

月は地球にとっていちばん身近な星です。

この本では、月に関する素朴な質問に答えて、月の魅力を紹介しています。美しい月の写真を眺めているだけでも楽しめます。



『白銀の墟 玄の月(一〜四)』

小野不由美/著 新潮社(913)

戴国王・乍驍宗と麒麟の泰麒が姿を消してから6年の歳月が過ぎます。

王が不在のため荒れてしまった戴国にやっと將軍李斎が泰麒を連れ還ります。



王・乍驍宗の運命は…。それぞれが、困難な運命を生き抜き、民の安寧のために闘います。ファンタジー小説『十二国記』長編第7作目(全四巻)です。



『蛍と月の真ん中で』

河邊徹/著 ポプラ社(913)

父親の影響でカメラマンを目指すようになった匠海は、ある出来事から大学を休学してしまいます。自暴自棄になった匠海が向かったのは、父が蛍の写真を撮影した長野県辰野町…。

そこで出会った人達と美しい景色がいつしか匠海の心を変えていきます。

